（ 令和7 ）年度　児童館事業年間活動報告書　（ 京都市深草 ）児童館

		活動名	実施回数	参加人数 乳幼児	小1～3年 自由来館	小1～3年 学童クラブ	小4～6年 自由来館	小4～6年 学童クラブ	中高生	大人	ボランティア 中高生	ボランティア 大学生	ボランティア 大人	合計	内容	成果と課題
子ども育成機能	基本活動	わんぱくランド(2)	10回		46	100	12	40						198	月に1回工作や集団遊びなどの活動を行う。	季節の制作や集団遊びを行った。 学童全体でも内容の周知を行い、昨年より児童だけでも参加人数が増えた。
		幼児クラブぷち夏祭り (3)	1回	6						5				11	幼児クラブの親子を対象に魚つりやくじびきなど、縁日風のブースを展開した。	2歳と3歳の各クラブの親子が一緒になってお祭りを楽しめる機会になった。今年はボールプール等の遊べる空間も作り、のびのび過ごせていた。
		夏祭り (3)	1回		6	55	13	14		8	5		1	102	小学生を対象に射的や的当て、ヨーヨー釣りなどのお祭りブースを展開した。大人や中高生中心に店番を担当した。	地域の運営協力会の方々や自由来館児童も参加し、さらに卒館生の協力もあり、とても賑やかなお祭りになった。
		ドッジボールクラブ(4)	16回		55	117	81	9	9					271	小学生を対象に近隣の公園で実施。ドッジのルールを実践で学び取り組んだ。昨年に引き続き、近隣の児童館と行う4館交流ドッジボール大会に参加した。	年間22回実施予定だったが、天候の関係で16回の実施となった。
		検定(一輪車・けん玉)(2)	12回			110	1	11						122	けん玉と一輪車を技の難易度によって級分けし、技ができたら昇級となる。	けん玉は事前に声かけをすることにより受検者が集まった。一輪車も興味を持つ児童が増え、練習から付き添い、検定まで導くことができた。
		中高生企画(7)	4回	14			1	1	15	12				43	・オリエンテーション＆クッキング ・中高生赤ちゃん講座 ・幼児クラブぷち夏祭りのお手伝い ・中高生と赤ちゃんの交流活動(クリスマス会)	普段関わる機会の少ない乳幼児親子と関わったり、赤ちゃん講座への参加、クリスマス会は企画段階から中高生に参加してもらい、当日の司会進行含め積極的な姿が見られ、中高生にとって良い機会を提供できた。
		やきいもスイーツパーティ(3)	1回		14	13	7	2						36	小学生を対象に館前児童遊園で実施。選んだ芋に下処理しドラム缶で焼いた後、自分の好きなトッピングを選びみんなで食べた。	芋を自分で焼いて食べる体験に加え、事前に好きな味付けについて意見を聞き、当日好きなトッピングで食べたことで、食べる楽しさをより味わえた。 また、参加者も昨年より半数増えた。
		クリスマス会(3)	1回		32	15	16	2						65	小学生を対象に実施。クリスマス会実行委員会を立ち上げ、レクリエーションやビンゴ、デコレーションケーキ作りなど企画し行った。	企画や司会の経験が実行委員の児童にとって成長につながった。学童児童にチラシ配布を協力してもらい、自由来館の参加も多かった。
		七輪でお餅を焼こう！(5)	1回		13	14	6	1		9				43	小学生を対象に実施。運営協力会の方や社会福祉協議会の方にご協力いただき、餅つきの体験や七輪でお餅を焼いて食べた。	地域の方と交流しながら餅をつく感触、焼いた餅の美味しさを楽しめた。今年は児童の昼食に合わせて、焼いた餅をお雑煮にしたり、おにぎりを提供したりと、より楽しい経験になった。
		深草ふれあいプラザ2025(5)	1回			4		4	1					9	・ジャグリングクラブのステージ発表 ・児童館ブースへの参加	ステージ発表ではディアボロの技を披露でき、児童の達成感につながった。
		ハロウィンイベント(3)	1回			49		9						58	小学生を対象に実施。仮装やボディーペイント、フォトスポットなどのブースを展開し、ハロウィンを楽しんだ。	昨年度から自由来館児童も参加可能とした。今年度はミニゲームを用いたり、自分で手にペイントしたり、全体的により楽しめた。
		合　計	49回	20	166	477	137	93	25	34	5	0	1	958		
		合　計														
	子ども育成機能　合　計															

＊注　基本活動は、指針に基づき(２)遊びの教室活動(３)行事活動(４)クラブ活動(５)地域間交流促進活動(６)配慮を必要とする子どもへの対応(７)中高生世代の活動支援(１０)エコ活動に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(１１)子どもが地域を知る活動(１２)移動児童館活動(１４)伝統文化に触れる活動に分類して記入すること。

（ 令和7 ）年度　児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書　（ 京都市深草 ）児 童 館

活動名	実施回数	参加人数										内容	成果と課題
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア			合計	
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人		
つくしクラブ(1)	34回	251					2	254				507	0～1歳過ぎの親子を対象としたクラブ(ふれあい遊び、手遊び、絵本読み聞かせ、制作等)	昨年度に比べ、制作の日に限らず通常の取組の日にも参加者が増えた。今後もアンケートの意見を取り入れ、広報を積極的に行っていく。
たんぽぽクラブ(1)	34回	105					2	88				195	1歳半～2歳半と2歳半～終焉前の親子を対象としたクラブ(ふれあい遊び、手遊び、体操、リズム遊び、運動遊び、感覚遊び、絵本読み聞かせ、誕生日会、クッキング、制作等)	半年の会費を値下げしてからも質の高さは保持でき、満足度は高かった。昨年より参加者が減少傾向にあったため、利用者のニーズに合わせてクラブを見直していく。
ひまわりクラブ(1)	34回	181						120				301		
深草あそぼうDAY(2)	12回	62						66				128	月に1回遊戯室に普段遊べないおもちゃ(ボールプール、すべり台、トランポリン等)を開放し、乳幼児親子が午前中から来られる日で、誰でも利用できる。	今年度は取組をご存じの親子だけでなく、初めて利用してから定期的に遊びに来られる方が増えた。今後も広報活動に力を入れていく。
おためしクラブ体験(1)	1回	5						5				10	来年度の幼児クラブに登録を希望されている方や幼児クラブに興味のある方の体験会。	既に児童館の利用経験のある親子の参加がほとんどだったが、ホームページを見て来られた方もいた。今後も広報活動に力を入れる必要がある。
ファミリーサポート登録会(2)	3回	5						13				18	・ファミリーサポートの会員登録会 ・提供会員(地域リーダー)の方への質疑応答	依頼会員になりたい方にファミサポについて周知し、登録もしていただける機会で、積極的な申込の問い合わせは増えつつあった。
ふかくさほっと♡カフェ(2)	1回	10						10				20	E-TOKO深草の取組の一環として実施。地域の乳幼児親子対象に、ドリンクやお菓子を提供し、ほっと一息しながら過ごしてもらうイベント。	以前まで実施していたほっとカフェをこの機会に実施。開催日を乳幼児クラブ後にしたのもあり、参加者が多数だった。親御さん同士の交流も増え、全体的に楽しそうな雰囲気だった。今後定期的に実施するか検討する。
ふかくさ人形劇シアター(2)	1回	25	2	12	3	2		29				73	地域の乳幼児親子や児童を対象に実施。人形劇団「てるてるぼうず」をお招きし、親子で楽しめる人形劇シアターを行っていただいた。	家族参加を促す活動として、地域の人形劇団に依頼。周知も積極的に行った結果参加者多数だった。人形劇は音や視覚でも楽しめる内容でとても盛り上がった。
令和8年度学童クラブ登録申請説明会(2)	1回	7	1					18				26	学童クラブに登録を希望される保護者向けに学童クラブについてや申請方法、また当館の紹介を行った	就学児健診に説明会の周知し、今年もより多くの利用希望者の方が説明会に来られた。
学童クラブ新規登録者面談(2)	随時	9	1					14				24	学童クラブに登録される親子の面談を行った。	事前に面談することにより、児童の配慮すべき点を職員で共有できた。
令和8年度学童クラブ入会説明会(2)	1回	11	2					21				34	学童クラブに新たに登録さる保護者向けに説明会を行った。	説明会を行うことにより、学童についての不明点を解消していただけた。
合　計	122	671	6	12	3	2	4	638	0	0	0	1336		

(3)子育て家庭相談・援助活動

子どもの年齢	件数	受理及び相談経路	件数		相談内容	件数	つないだ機関等	件数
乳児	7	児童館にて直接受理	28		健全育成問題	17	児童相談所	3
幼児	5	児童相談所	2		家庭養育問題	3	保健所	
小1～3年（自由来館）	6	保健所			成長・発達問題	15	保健福祉センター	12
小1～3年（学童）	10	保健福祉センター	3		教育問題		幼稚園・保育園	5
小4～6年（自由来館）		主任児童委員			非行・問題行動	3	小学校	5
小4～6年（学童）	5	その他			その他		中学校	
中学生	3	{ 保育園、小学校、地域諸団体 }	5		{ }		総合支援学校	
高校生	2						その他{ }	
件数　計	38	－	38		－	38	－	25

(4)子育てグループを育成・支援する活動

グループ名	構成人数	活動内容	育成・支援内容	成果と課題

推進活動

(5)子育てと健全育成に関する啓発活動

活動名	実施回数	活動内容	成果と課題
児童館だより、乳幼児親子向けおたよりを地域に配布	12回	近隣の保育園、幼稚園、小・中学校、運営協力会や地域の委員の方の自宅へ直接おたよりを届け、児童館での活動を知ってもらう。	近隣の施設だけでなく、深草支所におたよりやイベントのチラシを配架してもらった。保健師さんの紹介もあり、児童館を利用したことがない人にも当館を知ってもらうことができた。また、インスタグラムやホームページの更新を意識し、多くの人に取組を知っていただけた。
保健所8カ月検診	2回	役所で実施される乳児の8カ月検診にておたよりを配布して広報活動を行い、児童館の取組や乳幼児クラブについて知ってもらう。	伏見の児童館で輪番に8カ月検診に広報活動を行い、それにより乳幼児親子の利用者数が昨年よりも増えた。今後も積極的に広報を行っていく。

※注　基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動　②乳幼児の広場活動]（2）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

（ 令和7 ）年度　児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書　（ 京都市深草 ）児 童 館

地域福祉促進機能

基本活動

(1)地域住民との交流を促進する活動

活動名	実施回数	主催	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	合計	連携団体	成果と課題
夏祭り	1回	京都市深草児童館		6	55	13	14	5	9	102	運営協力会	「子ども育成機能」参照
ふかくさ亭(子ども食堂)	20回	京都市深草児童館			207		72		54	333	運営協力会	毎月定員を超える申込がある人気行事となっている。毎月人気のメニューで満足度が高い。
深草ふれあいプラザ2025	1回	藤森神社			4		4	1		9		「子ども育成機能」参照
七輪でお餅を焼こう！	1回	京都市深草児童館		13	14	6	1		9	43	運営協力会 社会福祉協議会	「子ども育成機能」参照
深草中学校チャレンジ体験受入れ	3回	深草中学校						6		6	深草中学校	地域の中学生に児童館の仕事について知ってもらえた。
京都看護助産学校の学生との交流	1回	京都看護助産学校			18				7	25	京都看護助産学校	学童児童と学生が交流できた。
合　計	27回	ー	0	19	298	19	91	12	79	518		

(2)ボランティア活動の推進

活動内容	活動人数 中高生	大学生	大人	合計	成果と課題
・龍谷大学NPOボランティアセンターとの連携					龍谷大学NPOボランティアセンターに、ボランティア募集ポスターを掲示していただいており、ボランティアに興味がある学生に連絡いただくよう要請している。
合　計					

(3)地域との連携を促進する活動

連携団体等	連携内容	成果と課題
地元連合会 社会福祉協議会 民生児童委員会 女性会 深草地域の保育園・幼稚園・児童館・小学校・中学校 地元池ノ内町内会・うずら会 (深草学区老人会)	①近隣の保育園、幼稚園、小・中学校、市役所、運営協力会や地域の委員の方の自宅へ直接おたよりを届け、児童館での活動を知ってもらっている。また、児童館の正面入り口と裏口にポスターを掲示し、ホームページやインスタグラムでも告知をしている。おたよりや掲示板を通し、児童館で取り組むイベントを知っていただいた上で、地域の方に連絡をとって協力や参加の依頼をしている。 ②深草ふれあいプラザ2025への参加。	①の結果、イベントが周知されたことにより地域の方々が様々な場面で協力してくださった。また、昨年よりもさらに、地域の方々と児童館の利用者が交流する機会が増えた。 ②に毎年参加させていただいており、当館を知らない人とも関わることができた。また、今年度もジャグリングステージ発表や児童館ブースを展開したことで、地域の方に向けての広報活動につながった。

（ 令和7 ）年度　　児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書　　（ 京都市深草 ）児 童 館

地域福祉促進機能

基本活動

(4)児童館を支える地域組織づくりと運営

組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
深草児童館運営協力会	深草学区社会福祉協議会 自主防災会 共同募金会 市政協力委員協議会 保健協議会 民生児童委員会 安心安全ボランティア会	1回(全体会) 運営協力会の方々が月2回 子ども食堂の食事を作りに来られ、その際に定期的に活動報告等進めている。	深草児童館運営協力会 ・運営協力会会長挨拶 ・洛和福祉会より挨拶 ・令和7年度運営協力会委員の紹介 ・令和7年度深草児童館職員の紹介 ・令和6年度運営状況報告 ・令和7年度事業計画 ・子ども食堂について	多様に協力を得ることができている。

推進活動

(5)地域への施設等の提供

会場提供・備品貸出等	使 用 目 的	提供先（団体・機関等）	成果と課題
図書室の提供 遊戯室の提供 児童書・一般書籍・紙芝居の貸出 運動会などで使われる遊具などの貸出 椅子・机の貸出	地蔵盆 地域住民の話し合い 子育て支援 PTAの行事 地域住民の話し合い	池ノ内町西部 地域の乳幼児親子 深草小学校	おたよりやイベントのポスター配布、掲示することにより、児童館の取組を知っていただくことができた。 インスタグラムや健診での広報活動等で、児童館に馴染みがない方への周知も行った。

(6)地域調査活動

調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
学童クラブ保護者アンケート	利用者意見の反映	学童クラブ保護者	深草児童館	アンケート	それぞれのアンケート結果から、利用者が何に満足し、どう行ったところの改善を望んでいるか把握できた。 アンケート結果を参考に、今後も満足度の高い児童館を目指す。
乳幼児クラブ保護者アンケート	利用者意見の反映	乳幼児クラブ保護者	深草児童館	アンケート	
一般来館児童アンケート	利用者意見の反映	自由来館児童	深草児童館	アンケート	
中高生と赤ちゃんの交流活動	利用者意見の反映	中高生	深草児童館	アンケート	

(7)地域の子どもの居場所との連携・交流

連携・交流先	取組内容	成果と課題

（ 令和7 ）年度　　児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書　　（ 京都市深草 ）児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広報活動	乳幼児クラブたより	月1回	乳幼児の保護者	近隣の児童福祉施設や役所への配布 乳幼児クラブの際に職員による案内 当児童館での配布 ホームページ掲載 保健所「8カ月検診」にて来館者配布	乳幼児クラブの紹介 児童館行事の案内・その他自由参加の取組の紹介 図書の貸出について紹介	乳幼児クラブでは、ホームページや役所、また8カ月検診での広報活動にて当館を知ってくださった方が多く新規の利用につながった。幼児クラブでは、継続利用の方や、その知り合いの紹介で来られる方が多く、掲示板を見て利用された方もいた。
	児童館だより	月1回	学童クラブ児童とその保護者 乳幼児の保護者 一般来館者 近隣の福祉施設・深草学区各種団体・保育園・幼稚園・小中学校・役所	学童クラブ児童への配布 当児童館での配布 広報対象への配布 ホームページ掲載 ポスターにして児童館掲示板に掲示 ICTで保護者に配信	一般来館者対象のクラブや行事内容 児童館からのお知らせ・お願い 前月の活動報告	児童館に遊びに来た乳幼児親子や自由来館児童に配布し、イベントや取組について周知し参加を促している。 学童クラブの保護者にもICTで配信することにより、学童だけでなく児童館全体の取組を把握していただけるようにしている。
	おやこ通信	2カ月に1回	乳幼児クラブ登録保護者	当児童館での配布 メールで保護者に配信	幼児クラブ行事予定表 行事内容の詳細	幼児クラブの予定や持ち物を掲載することにより、先のクラブへの見通しをもって準備していただくことができている。 保護者からの要望により、メール配信と紙の2つの媒体で発行している。
	大学生ボランティア募集	通年	近隣の大学の学生	大学の掲示板や研究室等へポスター掲示	学童クラブや一般来館児童との関わりや行事のお手伝いをしてくれる学生の募集	大学でのポスター掲示やチラシは定着している。今後も今来てくれている学生ボランティアに紹介を依頼したり、ホームページやインスタグラムを活用しつつ、随時募集をかけていく。
	介助ボランティア募集	通年	地域住民・学生	当児童館での配布 役所でのポスター掲示 広報誌ボランティアーズ掲載 OB・OGへの声かけ	学童クラブに通う障害のある児童の支援をしてくれる方の募集 生活のお手伝いや、他児童とのコミュニケーションの仲介など	以前から来てくださっている介助ボランティアの方が、引き続き児童と関わってくださっている。今後も引き続きポスター掲示なども行いつつ、OB・OGに声をかけることで地域住民との関係も構築していく。
	インスタグラム	随時	全ての方	定期的なインスタグラムの投稿 (週1～2回目安)	各事業の活動報告 各クラブ活動の募集 当児童館のイベント告知 館内の掲示物紹介など	児童館の取組を報告したり、イベントの告知を行ったりしている。週に1回は更新しており、利用者から「いつも見ています」といっていただけたり、地域に限らず一般の方の閲覧数も増えている。

（　令和7　）年度　学童クラブ事業年間活動報告書

（　京都市深草　）児童館・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主な取組名	成果と課題
生活援助機能	安全・衛生の確保	手洗いの励行	毎日、登館時・おやつ前・外遊び後に手洗いをするよう声かけした。また、しっかり洗えたら色が変わる石鹸を取り入れ、児童が積極的に手洗いをするようになった。今後も声かけや色が変わる石鹸の使用を継続し、感染症防止に努める。
		遊具・おもちゃ等の定期的なチェック	施設内の設備や前庭の遊具に危険な箇所がないか、チェックリストを見ながら毎月安全点検を行った。大きな怪我や事故なく過ごすことができた。
		昼食・おやつ時の衛生管理	昼食やおやつを食べる前後は、机を水拭きしたあとに消毒していた。児童には手洗いするよう声かけした。おやつ時、職員が食品を扱う際は、使い捨てのビニール手袋を着用した。
		登館・下館時の安全確保	登館時は小学校と、下館時は各家庭と連携をとり、安全確保に努めた。新入生が慣れるまでは、職員が登下館時に児童を送迎した。登下館時は1人にならないように指導しており、児童は複数人で安全に帰ってきていた。
	健康の管理・情緒の安定	健康チェック	職員が毎日児童の様子をよく観察した。児童が館内で体調不良を訴えた場合、風邪などがまん延しないよう他の児童と隔離した。小学校の教諭から児童の体調や怪我について連絡が来ることがあり、連携をとりながら健康をチェックした。
	基本的生活習慣の確立	挨拶の励行	登下館時や児童館に来客があった際には挨拶をするよう、日頃から児童に伝えた。特に、登館時に職員に「ただいま」を言ってもらうことで、コミュニケーションをとると同時に出席確認もできた。
		学習時間の確保 整理整頓、物の大切さを教える	平日の学習は各自の自主性にまかせた。夏季休暇中は学習時間を設け、宿題や読書などに集中して取り組めた。 児童には整理整頓をするよう声かけした。また、おもちゃや備品などを丁寧に扱うようにも伝えた。日頃から、児童館はみんなで過ごす場所、おもちゃはみんなで使うものという意識をもってもらえるよう伝えている。
	社会生活技術の獲得	行事・クラブ活動など	日々の生活だけでなく、みんな遊びをするイベントやクラブ活動でも学年関係なく取り組んだ。友だちや学年の違う相手と関わることで、縦と横の両方のつながりをもつことができている。
子ども育成機能	生活体験の拡大	毎月の行事(誕生日会・子ども食堂など)	誕生日会では誕生月の児童をみんなでお祝いした。全員にお祝いされ、プレゼントをもらうことで自己肯定感がはぐくまれた。 子ども食堂では地域の運営協力会の方が、毎月食事を提供してくださった。地域の方と交流しながら食事を楽しんだ。
		季節行事(ハロウィンやクリスマスなど)	児童の意見を取り入れながら季節行事に取り組んだ。行事の企画や司会を児童が行う場面も多々あった。他の児童の意見を聞く大切さを学びながら、自分たちで行事を作り上げる責任感や達成感を味わうことができた。
	自主性・社会性の養成	館外活動 (なかよしマーケット、4館交流ドッジボール大会など)	なかよしマーケットでは、自館で作った商品を他館と問屋形式で交換した。4館交流ドッジボール大会では近隣の児童館とドッジボールをすることで交流を深めた。館外活動では、他館との交流でコミュニケーションの輪が広がった。また、館外活動は参加希望の児童を募る為、「挑戦してみたい」「体験したい」という児童の自主性がはぐくまれた。
		クラブ活動 将棋、ハンドメイド、高学年、ジャグリング ドッジボール(児童館事業)	将棋クラブでは、将棋の楽しさを味わってもらい、館内や京都市の大会で実力を発揮できるよう日々の対局に取り組んだ。 ハンドメイドクラブでは、季節感があったり、作って遊んだりできるものを制作し、物作りの楽しさを味わった。 高学年クラブでは、児童の「やってみたい」の声に耳を傾け、スクイーズ作りやクッキングを実施した。 ジャグリングクラブでは、ディアボロの技を練習し、地域のお祭りや児童館の行事でステージ発表をした。 ドッジボールクラブでは、投げ方と受け方の基礎を身につけ、公園で試合を行ったり、交流大会に向けて練習をしたりした。
	自立の促進と自主性の尊重	長期休業中の活動(行事の準備、夏祭りなど)	なかよしマーケット用の商品を工作したり、駄菓子屋さんごっこ用の看板を作ったり、行事に必要なものを児童と職員で準備した。自分たちで必要なものや取り組み方を考え、行事遂行のために工夫することで自立や自主性を促した。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	さくらdays(保護者と施設の連絡アプリ)の活用 児童の登下館時の打刻 保護者と施設間の報告・連絡・相談	毎日児童の登下館時、QRコードを打刻している。保護者の携帯電話に児童の入退室時刻が通知され、安心感につながっている。 保護者からの欠席連絡、施設からの怪我や体調の報告等、必要な情報を相互にやりとりしている。 学童クラブの予定や行事の申込を、おたよりやメッセージのアンケート昨日にて配信して周知している。 『さくらdays』の使用により、保護者と施設の連携がスムーズにとれている。その一方、アプリの不具合や保護者による設定上の問題(通知をオフにしている、パスワードを忘れてログインできない等)が時々見られた。また、外国籍の児童の保護者とはアプリ上では情報共有が難しいという課題もある。今後も『さくらdays』は使用しつつ、重要なことや文面では伝わりにくいことは対面や電話で伝達するなど、臨機応変な対応が必要になる。
		おたより、お知らせ配信	
	子育ての仲間づくり	新入生説明会・保護者会の実施	施設側から保護者に情報提供するだけでなく、保護者同士が情報共有や談笑など交流する機会にもなった。
	子育てを支えるネットワーク形成	学校・地域・関係機関との連携	各小学校と児童の情報共有をしたり、様々な行事で地域の方々と交流をもったりした。今後も児童館と保護者だけではなく、学校や地域の方々と協力し合い、地域全体で児童を見守っていけるよう取り組んでいく。

（　　令和7　　）年度　学童クラブ事業年間活動報告書

（　　京都市深草　　）児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
挨拶や整理整頓の指導　（1）	毎日														挨拶や整理整頓を習慣にできるよう日々指導する。
子どもの状況等の把握　（1）	毎日														ICT等で把握し、出欠の有無、児童の体調管理も把握する。
おやつの提供　（1）	毎日														基本生協で注文をするが、行事の際はスーパー等で購入する。
登下館指導(引率含む)　（1）	随時														安全に登下館できるよう指導する。（引率する場合もあり）
学習の習慣化　（1）	毎日														毎日の声掛けと長期休み中は朝の時間に学習時間を設けている。
館庭掃除　（1）	随時														雑草抜きや枯葉の掃除等を児童と一緒に行っている。
年末大掃除　（1）	1回	14	13	14	3	6	2							52	年内最後の平日に児童と一緒に館内、前庭の掃除を行う。
防災・避難・防犯・訓練　（1）	12回	202	135	163	39	55	35	3	2	3	0	7	1	645	年間を通し、災害の避難方法や不審者対応について学ぶ。
児童館での過ごし方指導　（1）	1回	20												20	新1年生に児童館での過ごし方を説明、指導する。
新入生歓迎会　（2）	1回	20	15	17	7	6	6		1					72	上級生の児童が特技披露を行い、みんな遊びをして新入生を歓迎する。
お花見　（2）	2回	33	26	27	12	14	9							121	前庭の桜の木の下でブルーシートを広げてお弁当を食べ、花見を楽しむ。
誕生日会　（2）	12回	232	160	174	40	54	35	1	1	1	0	5		703	誕生月の児童を毎月末にお祝いする。
看護の日　（2）	1回	10	4	4									7	25	看護学生の話を聞き、一緒に折り紙を折って交流する。
交通安全教室　（2）	1回	18	13	14	15	1	2					3		66	登下館時などの交通安全について警察官に教えていただく。
水遊び　（2）	1回	23	15	14	5	5	3			4		1		70	水鉄砲を使ってグループ対抗戦を楽しむ。
なかよしマーケット品物制作（2）	複数回														なかよしマーケットに向けて児童に品物制作の時間を設ける。
なかよしﾏｰｹｯﾄ(問屋)(Aｸﾗｽ)（2）	1回			4	1	4	1							10	3年生以上の希望児童が他館へ行き、品物を買い付けに行く。
なかよしマーケット(館内)（2）	1回	14	15	17	3	5	2							56	商品の値段設定や看板作りも児童で行い、買い付けた商品の売買をする。
新しいおもちゃのルール決め（2）	3回					16								16	児童館で新しく出すおもちゃのルールを児童自身で考える。
かき氷屋さん　（2）	1回	19	15	17	3	4	3			3			6	70	運営協力会の方々を招待し、皆でかき氷を食べる。
京都市子ども将棋交流大会（2）	1回			1		1								2	京都市の将棋大会に、将棋クラブの代表者が参加する。
駄菓子屋さんごっこ　（2）	1回	12	8	7	3	3	1						1	35	おやつ時に希望児童が売り手になり、紙のお金で買い物をする。
4館ドッジボール交流大会（2）	1回	10	11	9	4	6	1	2	3			1		47	地域の児童館が集まってドッジボール大会を行う。
ｸﾘｽﾏｽ会実行委員会議(Aｸﾗｽ)（2）	7回			15	13	17	7							52	高学年クラブと希望児童がｸﾘｽﾏｽ会に向けて、企画・準備を行う。
お楽しみ会　（2）	1回	15	16	17	3	6	2						2	61	１年の思い出を振り返る動画を観たり、みんな遊びをしたりする。
お弁当いらないDAY　（3）	3回	46	36	42	12	14	6	0	0	2	0	0		158	運営協力会より、王将から提供されたお弁当を児童へ支給する。
子ども食堂　（2）	20回	63	84	60	36	19	17	0	0	0	0	0	54	333	運営協力会のご協力により、美味しくて楽しい食事時間を児童へ提供する。
ビデオ上映　（2）	複数回														雨天時に外遊びができないときのみ、特別に視聴する。
落ち葉清掃　（2）	随時														前庭の落ち葉を児童と一緒に掃除する。
ハンドメイドクラブ　（2）	22回	148	67	88	4	11	10	0	0	1	0	0	4	333	月2回、制作をメインに活動する。
将棋クラブ　（2）	22回	87	34	33	16	31	0	0	0	0	0	1	0	202	月2回、将棋の上達を目指し対戦を行う。
高学年クラブ　（2）	19回	0	0	15	42	17	17	0	0	0	0	0	0	91	高学年が主体となって遊びや行事を企画、実践する。
ジャグリングクラブ　（2）	12回	15	29	37	27	17	5	0	0	0	0	0	2	132	ディアボロを練習し、行事等で技を披露する。
学童クラブ新入生説明会　（3）	1回							2					32	34	新入生の保護者を対象に児童館の利用説明を行う。
学童クラブ登録説明会　（3）	1回							1					25	26	学童クラブへの登録方法について説明を行う。
学童クラブ新規登録者面談（3）	複数回														学童クラブに新しく登録される保護者と児童と職員が面談する。
保護者会　（3）	2回												30	30	子どもの様子、今後の取組など保護者と情報共有を行う。
認知症サポーター養成講座（2）	1回	18	12	18	4	4	4					18		78	地域の方から児童に「認知症」について教えていただく。
伝統工芸体験　（2）	1回	15	10	18	5	6	2						7	63	職人に来ていただき、児童が『型友禅』のカバンを作成する。
深草ふれあいプラザ ステージ発表（2）	1回		3	2	3	2								10	地元の祭りのステージで、ジャグリングクラブの児童が技を披露する。
学校地域との連携　（3）	随時														学校行事や連絡事項、児童の気になる様子等、情報共有を行う。
関係機関との連携　（3）	随時														必要に応じて障害児施設や保育所等と情報共有を行う。
保育園の先生と連携　（3）	随時														新1年について気になることがあれば情報共有を行う。
保護者との個別相談　（3）	随時														新入生は必ず、在館生は必要に応じて面談を行う。
介助者との面談　（3）	随時														対象児童についての迎える準備、調整等を行う。
途中入会児童の対応　（3）	随時														年度途中に学童クラブに入会を希望する児童への対応を行う。
学童クラブだよりの発行　（3）	毎月														学童クラブのお便りを毎月発行する。
ICT(うぇぶさくら)の活用　（3）	毎日														学童クラブ児童の出欠確認や保護者との連絡などを行う。

＊注１　　行事名は、（1）生活援助機能　（2）子ども育成機能　（3）子育て支援機能に分類して記入すること
＊注２　　２クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること